

その他の食料品製造業における高温・低温環境を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	0～1	揚生産時、釜で湯を沸かし湯通しをするが、生産を早める為に他者が湯を沸かして釜に湯をためたままにしておいたが、生産担当者への引き継ぎを忘れた為に生産担当者が内部を確認するため蓋を開けたところ、蓋よりも多く湯が入ってため、下部より流出した湯で両足大腿部を火傷した。	30～299	100～299
1	13～14	当社パスタ室で、麺茹で槽の塩分値を決定する時に、槽からボールで、お湯を採取した際、槽のお湯が突沸上昇し腕に掛り、右前腕内側に熱傷を負った。	19～999	500～999
1	7～8	敷地内駐車場で、路面凍結のため足をすべらせ、体勢を立て直したが、すべり前のめに倒れ、右手を地面につき負傷した。	18～299	100～299
3	10～11	本社工場内にある冷凍庫（庫内の温度マイナス20度前後）内の冷凍品（肉・タレ等）を片付け作業中（冷凍庫内と外を行ったり来たりしていた）、体調不良を感じ休憩をとった。そのあと体の冷えを緩和しようと外（外気温9.7度）に向かう途中に転倒し、外に出てもう一度転倒し、その際に額を打ち出血した。	66～49	30～49
5	7～8	本社工場地下2階加熱調理場にて、ザルに入れた杏を煮釜を使い熱湯にくぐらせた後、水の入った別の煮釜に移す作業をしていたところ、ザルから熱湯がこぼれて長靴に入り、左足足首から甲にかけて火傷を負った。	18～499	300～499
7	12～13	応援に行った調理室で、じゃがいもの皮むきをしていてコンボスタのドアを何度か開けたときに、蒸気が顔にあたり、目のまわりを火傷した。	44～999	500～999

7	1～2	当社2F製造フライヤー室内において、フライヤーの取り出し作業をしていたところ、室温40度、湿度80度の中での作業が続いたためか、次第に疲労とともに体調が悪化し、頭痛、めまい、倦怠感等の症状が現れた。そのため、立ち仕事が困難となり早退した。	79	500 ～ 999
12	21～22	加熱調理室にて、蒸気釜で豆腐をボイルしたあと、豆腐を取り出す作業中に、蒸気釜を少し傾けたところ、思った以上に熱湯が流れてきた。エプロンと長靴を着用していたが、隙間から長靴に熱湯が入り、右足足背（足の甲）を火傷した。	32	100 ～ 299

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html